

別記様式（第4条関係）

会議録（令和5年度大垣市地域創生総合戦略推進委員会第1回会議）

議 題	議題(1) 第2期「水の都おおがき」創生総合戦略の中間評価（案）について 議題(2) 令和4年度地方創生関係交付金及びまち・ひと・しごと創生寄附活用事業（企業版ふるさと納税）の効果検証（案）について 議題(3) 第3期「水の都おおがき」創生総合戦略の策定方針（案）について		
日 時	令和5年8月18日（金）	場 所	大垣市役所 4階 情報会議室
	13:30～14:45	事務局	企画部地域創生戦略課
出席者 (欠席者)	竹内 治彦《委員長》、 茂木 七香《副委員長》、 杉田 邦隆、竹中 昌子、長瀬 ちえ子、 田中 慎也、松岡 敦子、三輪 千加子、 三輪 正直、松本 正平、和田 雅、 西 哲也、竹中 哲夫、若山 謙一、 堀 哲也、山田 孝二、鳥居 保徳、 長谷川 郁代（計18人） （欠席者：川瀬 久子、松村 麻里、 宮本 隆彦）	傍聴者数	1人
		記録方式	全文・ 要約
【発言】 <u>議題(1) 第2期「水の都おおがき」創生総合戦略の中間評価（案）について</u> 事務局より第2期「水の都おおがき」創生総合戦略の中間評価（案）を提案したところ、委員より次の意見があった。 ①評価基準を「目標達成」「目標達成率80%以上」「目標達成率70%以上」「目標達成率60%以上」「目標達成率60%未満」の順に、A、B、C、D、Eと設定していることにより、実績値が基準値より上回っているのにE評価、反対に、実績値が基準値より下回っているのにB評価となっている指標が見受けられるため、目標値だけではなく、基準値も考慮した評価方法を再検討されたい。 ②社会増減の実績値がマイナスであることの要因について、詳細な検証をされたい。			

議題(2) 令和4年度地方創生関係交付金及びまち・ひと・しごと創生寄附活用事業（企業版ふるさと納税）の効果検証（案）について

事務局より令和4年度地方創生関係交付金及びまち・ひと・しごと創生寄附活用事業（企業版ふるさと納税）の効果検証（案）を提案し、委員からの意見は特になかった。

議題(3) 第3期「水の都おおがき」創生総合戦略の策定方針（案）について

事務局より第3期「水の都おおがき」創生総合戦略の策定方針（案）を提案したところ、素案の作成にあたって、委員より次の意見等があった。

①第3期総合戦略の構成に、「人口等の今後の展望」とあるが、人口ビジョンを作り直すことも含まれるのか。

⇒今のところ想定していないが、国立社会保障・人口問題研究所の最新のデータと見比べて、本市の今の立ち位置を検証させていただく予定。（事務局より回答）

②ソフトピアジャパンが立地しているという地域特性を踏まえて素案を作成されたい。

③全国的に人口減少が進む中、住みたいと思われる魅力的なまちとなるよう、デジタル技術を活用した、これまでにない新たなサービスを検討されたい。

④人口の状況を的確に分析するとともに、適切なK P Iを設定されたい。

【結論（成果）】

・委員の意見を踏まえ、第3期「水の都おおがき」創生総合戦略（素案）を作成し、第2回会議において素案を提示する。

特記事項	
------	--